



釧公大だより

A Aurora



『浮き遊び』 撮影者：石森 拓海（経営学科3年）

東日本大震災により被災された学生に対し、引き続き経済的支援を行っています。

この震災により入学金や授業料の納付が困難となった学生に対して、入学金の免除や授業料の減免を行っています。

ご相談については、事務局学生課までお問い合わせください。

CONTENTS

学長メッセージ	2
新任教員紹介・活躍する教員	3
卒業予定者の内定状況	
キャリアセンターだより	4
講義紹介・100円朝食の提供	5
活躍する公立大生	6
公開講座のご案内	7
インフォメーション	8



心地よい秋空になりますように

釧路公立大学学長 高野敏行

今夏、釧路には3つの台風がやって来しました。大学では構内の樹木に影響があった程度ですが、道東では洪水とそれに伴う農業被害や土砂崩れなどがあり、釧路から札幌へのJRの不通が長く続いています。

そんな「いつもと違う夏」でしたが、大学の様子などをお知らせします。

大学の夏休みの始まりは「オープンキャンパス」(8月6日土曜日)です。ここ数年、参加者は増加傾向にありましたが、今年はさらに増え、400人を超えました。もちろん過去最多です。開会のあいさつのため第2大講義室の教壇に立って、思わず見とれてしまうほどでした。道内の高校生とそのご家族が大半ですが、いつものように東北地方からも多くの参加がありました。担当者の間では毎年、「一番遠くから来たのは？」ということが話題になりますが、今回は静岡県でした。オープンキャンパスへの参加者の増加傾向が、そのまま入試の志願者増につながってくれればと願っています。

オープンキャンパスが終わると高校訪問、出前授業、企業訪問、学会や研修など、教職員はそれぞれの活動に入りますが、学生がまばらになった大学の建物は維持管理のための工事期間に入ります。来年には開学30年というかなり古い建物なのですが、10年計画に基づいてメンテナンスを続けています。5年目の今年はトイレの改修、照明のLED化、外壁の補修、アトリウムガラス天井の雨漏り防止工事などです。学内のあちこちに立ち入り禁止区域、鉄パイプの足場などがあり、私を含め、夕方遅くに帰宅する者は足場に上って普段とは違う眺めを味わいたいという気持ちを抑えるのにやや大変です。

そういえば9月初旬に1期生が2人そろって学長室に来てくれました。学内を少し見て回って、「こんな建物はなかった(第2大講義室、図書館

の増築部分)。予想以上にきれいだ。この学長室には初めて入った。」などと、増築や改修に反応してくれました。2人は、開学したての大学で「釧路公立大学経済学部体育学科在籍」と自称していた、スポーツ万能で身体からエネルギーがあふれ出ていた学生でした。29年前に始まった学生生活、卒業後の暮らしぶりや家族のことまで話は尽きませんでした。どんなに大変なことも、思わず笑える話にしてしまえる2人に感心しました。当たり前ですが尊敬できるオトナでした。この夏に学長室に迎えた、最高の客人たちでした。さてこれからどんな卒業生が来てくれるのか、楽しみです。

ここまでを自分で読み返してみると、私が大学内にじっとしているかのような文章になっていることに気づきました。少し自分の動きもお知らせします。この夏には、東京、宮崎、会津若松の3都市での会議に出席しました。いずれの会も、最高気温が30度を軽く超え、強い日差しの日に開かれ、会場まで歩くだけで汗が流れます。どこでも、顔なじみの学長たちに「釧路は涼しいでしょう」と声をかけられます。今年の釧路は少し違ったのですが、「霧のせいでしょうか、ひどく涼しいですよ」などと応えます。この時期、会議の話題は文科省の大学政策とくに高大接続(大学入試)改革が中心です。ある会議の後、会場近くの美術館の展覧会に立ち寄りしました。そこで、1970年代以降の作品の前に立つと、自分の見方がひどく散漫になってしまうことに気づき、あちら(作品)のせいなのか、こちら(自分の中の物差し)のせいなのかが気になりだしました。さらに、絵に対する自分の物差しがどのように出来上がっているのだろうという疑問が湧いてきました。こうして今年後半のプライベートな宿題も決まりました。

さて、これからの秋、いつもの青空が続くことを願いつつ、夏に成長した学生たちと再会することを心待ちにしたいと思います。では!

新 任 教 員 紹 介



釧路公立大学講師 北 島 義 和

(担当科目：社会学、地域社会学ほか)

今年度より本学に着任しました北島義和と申します。赴任して数ヶ月になりますが、関西で生まれ育ち関西の大学で研究してきた私にとって、釧路という気候も風土もまったく異なる土地での生活経験は、とても新鮮なものです。他方で、青々とした牧草や湿った泥炭の広がる風景は、多くの関西人とは異なり私にとっては馴染み深いものでもあります。と言いますのも、私は大学院時代にアイルランドという国（イギリスのお隣にある島国です）に留学をした経験があり、釧路地域の風景は私にかの国を思い起こさせるのです。

私は本学で社会学関連の授業を担当しております。個人的な専門は地域社会学や環境社会学と呼ばれる分野で、地域における環境管理のありようについて、日本とアイルランドをフィールドにした調査研究をおこなってきました。社会学とは、私なりに申しますと、我々が他の人々と共にこの世界を生きる中で作り出している様々な決まりごとや仕組みについて研究する学問です。そして、それはおそらく経済学や政治学などとは少し異なるものの見方を取ります。私の専門分野に近い話

をしますと、例えば人々が川にゴミを捨てないようにしたいとき、どうしたら良いでしょうか？見回りをする人を頼んだり罰金を科す法律を制定したりも良いですが、実施はなかなか大変そうですね。そんなとき、社会学的視点からはこんな解決案が提示されたりします…「川のそばにお地蔵さんを建てる」！常識に縛られずに人々の織りなす社会の機微を捉え、そこから世界の別のありようを提示する、そんな社会学の魅力を学生の皆さんとも共有できればと願っております。

先述のように釧路地域の風景はアイルランドに似ていますが、その上に成立しているのは日本的な社会です。しかし、本州と異なりその社会の歴史は浅く、欧米的とも言える個人性や多文化性を有しています。言うなれば「日本でもありアイルランドでもある」、そんな土地に職を得られたのは何かの運命かもしれません。この場所からはどんな「もうひとつの世界」が見えるのか、学生の皆さんと一緒に探求していきたいと思っておりますので、今後どうぞ宜しくお願いいたします。

活 躍 す る 教 員

在外研究を通して

2015年9月から2016年8月まで、アメリカ合衆国のイリノイ州エバンストン市にあるノースウェスタン大学ケロッグ経営大学院にて、客員研究員として在外研究に従事してきました。大学での生活では、受け入れ教授のTorben G. Andersen教授をはじめ、Viktor Todorov教授、同じ研究室にいたポストドクや在外研究員の方々には大変お世話になりました。その一つに、彼らと勉強会グループを作りお互いに論文を輪読するというものがありました。そこでは自身の論文を選択せずに、別の論文をあたかも執筆者であるかのように発表し、細かい質問にも対応しなければなりません。輪読の準備は大変ではありましたが、私の研究分野と関連しているものの未だに取り組むことができなかつた分野について、多くの知見やアイデアを学ぶことができ大変充実したものとなりました。その他、大学院の授業を聴講しましたが、少人数制のクラスが多く、ネームプレートを机の上に置いた学生が積極的に教授と議論する様子が大変感銘を受けました。在外研究での第一の目的は私自身の研究活動を行うことになりませんが、在外研究前から継続中の論文とケロッグ滞在中に開始した論文をセミナーにて発表することができました。発表時間は1回あたり約1時間15分でしたが、アメリカでのセミナーはフロアから質問が

釧路公立大学准教授 生 方 雅 人

頻繁に飛び交うということを耳にしていました。実際、スライドで話す内容は50分くらいの量を想定してとして望みましたが、活発な質疑で時間が経ってしまいスライドが進まず説明を短くした記憶が残っています。セミナーの終了後は長きにわたり教授から細かいコメントやアドバイスを頂くことができ、その後は個人的なミーティングを定期的にとって下さいました。それをきっかけに教授と共同研究をおこなう機会が得られたことは、何事にも代え難い経験になると確信しております。その頃には1年間という期限はあっという間に迫ってしまいましたが、日本に帰国後も継続的に行っていく予定です。最後に、在外研究という貴重な機会を与えて下さった本学に感謝の意を述べたいと存じます。



卒|業|予|定|者|の|内|定|状|況

(2016/09/20現在)

■**建設業** 北ガスジープレックス、積水ハウス、田中組、ドーコン、日本ハウスホールディングス、北海電気工事、北海道セキスイハイム、三井ホーム

■**製造業** 大塚製薬、北菓楼、須田製版、武田薬品工業、東洋印刷、日本板硝子東北、パナソニックデバイス帯広、林精器製造、ホクレンくみあい飼料、北海道糖業、マイブリント、松希、持田製薬、モリタン、ヤスタフアインテ

■**卸売・小売業** アークス、旭川スズキ販売、伊東屋、伊藤忠メタルズ、エコノス、大槻食材、小田商店、コープさっぽろ、国分北海道、札幌丸井三越、しまむら、スズキ自販岩手、ステップ、セブン・イレブン・ジャパン、竹山、丹波屋、DCMホームマック、鉄建、寺岡北海道、デンコードー、東急百貨店、トータルフーズ、トヨタL&F栃木、DORAL、ナシオ、バイタルネット、ハミューレ、ビッグモーター、ファミリーマート、福原、フロンティア、ほくやく、北良、細谷地、北海道コカ・コーラボトリング、北海道森永乳業販売、マックスバリュ北海道、ミニストップ、モロオ、山田機械工業、ユニバース、ラディックス、ラルズ

■**金融・保険業** あいおいニッセイ同和損害保険、青い森信用金庫、秋田信用金庫、旭川信用金庫、網走信用金庫、岩手銀行、SMBC日興証券、SMBCフレンド証券、遠軽信用金庫、渡島信用金庫、かんぽ生命保険、北日本銀行、釧路信用金庫、損害保険ジャパン日本興亜、第一生命保険、大和証券、東海東京フィナンシャル・ホールディングス、東京海上日動火災保険、十勝信用組合、砺波信用金庫、苫小牧信用金庫、日本生命保険、野村證券、飛騨信用組合、北洋銀行、北海道銀行、北海道信用漁業協同組合連合会、

北海道信用保証協会、北海道労働金庫、明治安田生命保険、室蘭信用金庫、ゆうちょ銀行

■**運輸・情報通信** エクストリンク、北日本コンピューターサービス、サカイ引越センター、産経新聞社、ソフトバンク、TIS北海道、日本情報産業、バレットグループ、ファイブズ、ホープス、北海道新聞社、北海道中央バス、北海道旅客鉄道、三ツ輪運輸

■**電力・ガス** ほくでんサービス

■**不動産業** 三光不動産、住友不動産販売、大東建託、北海道空港、三井不動産リアルティ

■**サービス** アウトソーシングテクノロジー、秋田ふるさと農業協同組合、あきんどスシロー、インテリジェンスビジネスソリューションズ、ANA新千歳空港、エイチ・ピー・エヌ、EVERLONG、エムエムエスマンションマネージメントサービス、エムジー・コーポレーション、きたみらい農業協同組合、きちり、近畿日本ツーリスト北海道、三幸学園、正栄プロジェクト、進学会、セントケア・ホールディング、創和プロジェクト、太陽グループ、タナベ経営、テクノマインド、函館市亀田農業協同組合、北海道漁業協同組合連合会、北海道農業共済組合連合会、ピンネ農業協同組合、マイナビ、名鉄観光サービス、向瀧、芽室町農業協同組合、ヤマチコーポレーション

■**地方公務** 池田町役場、鹿児島県警察、上士幌町役場、釧路市役所、警視庁、札幌市役所、鹿追町役場、北海道警察、北海道庁（一般行政）、北海道庁（教育行政）、北海道庁（警察行政）、山形県庁（警察行政）

キ|ャ|リ|ア|セ|ン|タ|ー|だ|よ|り

「釧路公立大学キャリアセンター」

キャリアセンターを開所して今年6月で3年が経ちました。昨年度の1年間でキャリアカウンセリングをのべ1,473回実施し、セミナー参加者は1,237名となり、いずれも昨年度と比べ約3割上回る実績となりました。入学後まもない1年生を含め、学年や学科に関係なく多くの学生が利用してくれるようになったことを嬉しく思います。

今年4月から常駐キャリアコンサルタントが1名増え男女各1名の2名体制になりました。より多くの学生対応が可能になり相談しやすくなったので、これからも利用者は増えると思います。

キャリアセンターは3、4年生への就職支援だけではなく、早期からのキャリア形成支援を行っています。入学前の夢や希望、卒業後に社会や地域の役に立ちたいという思いを実現するキャリアプランを、学生一人ひとりと向き合い一緒に考えています。

今後は学外機関との連携、地域企業や市民とのコラボレーションに力を入れ、学生が経験できるフィールドを増やしたいと考えています。学生生活の充実と同時に、職業観の醸成や自己成長、地域貢献を実感する経験に結び付けたいと考えています。学生活動を地域企業や市民の皆様へ周知する機会を増やし、身近で開かれた大学と感じていただけるプロジェクトを実施していきます。

新しいプロジェクトの構築、実施には皆様のご協力が不可欠となります。引き続き、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

後期に実施する就職対策事業

9月	公務員受験対策講座（夏期集中） 一般常識対策模擬試験
10月	自己分析講座 企業訪問報告会 求職票配付（学生課に全員が提出） TOEIC IP試験 SPI対策テスト 業界研究講座 企業研究講座 社会人の体験談を聞こう インターシップ報告会
11月	内定者パネルディスカッション 公務員ブラッシュアップ講座 履歴書対策講座・添削 秘書検定試験 就活マナー講座 就活メイク講座（女子学生対象） エントリーシート攻略講座・添削 金融実務講座 公務員試験合格者パネルディスカッション グループディスカッション対策講座
12月	模擬グループディスカッション 面接対策講座 採用担当者パネルディスカッション 模擬面接（集団） 内定者伝授会 模擬面接（個人）
1月	模擬面接（個人）
2月	就活直前対策講座 合同企業説明会攻略講座 公務員試験対策講座（春期集中） 公務員試験説明会（学内） 業界研究会 公務員模擬試験

皆月です。本学の後期が始まりましたね。前期はシステム工学を講義しました。もしかすると科目名から、大学の経済という専門分野から比較して違和感を持たれるかも知れません。私は異分野の学問を混ぜながら知識を生成していくことを大切にしており、違和感があることこそ知っておくべきだと思います。システム工学の講義では、アニメ“ジパング”の内容を用いながら、ランチェスター法則の理解と微分方程式を解説し、応用としてクーブマン理論の「戦略：戦術」の比が、なぜ「2：1」になるのかを、アニメ“沈黙の艦隊”のシーンで学べるように設定しました。私の講義の方針は、人工知能など難しく手が届きにくい学問こそ、受講生の記憶に残るような手法で解説しています。ところで毎講義での終わりにはコミュニケーションシートを記入してもらい、受講生のみなさんの意見や感想を読んでいます。シートには、理解が難しかった箇所や質問も書かれており、次週の講義資料の作成に活用しています。講義内ではアニメの断片しか使用していないため、最初から読みたいという要望もありました。受講生の

講義紹介



要望で“ジパング”の全巻が図書館に置かれたことは、講義を担当する私だけでなく、大学事務局をはじめ教職員がみなさんの学びを応援しているのを感じます。正門から入ると大学建屋前に置かれた鋼鉄の作品を目にすることができます。アウローラ (Imaginary Auroa, 1988, OSAMU Shimoda) という名称です。アウローラの複数枚かつ複雑に折り重なる鋼鉄辺には、異分野の学問から織りなす新たな知識創造を予感させます。各自の知識で未来を創っていく場が釧路公立大学です。



総理大臣官邸での表彰・祝賀会に出席した皆月教授 (6月27日)

釧路公立大学生協同組合と釧路公立大学後援会の協力を得て、学生向けに朝食を100円で提供する取り組みを実施しました。

安価で提供することで学生の規則正しい生活をサポートし、学業に専念できる環境を構築させることが狙いです。

通常の大学生協食堂の営業時間は11時30分から13時30分までの昼の時間帯のみですが、4月末までの平日13日間のみ、1時間目の講義が始まる前の8時15分から9時までを特別に営業しました。

メニューは「サバ塩焼きセット」や「サバ味噌煮・肉じゃがセット」など4種類を日替わりでの提供とし、通常450円程度の内容ですが、差額は後援会が負担しました。

100円
朝食の
提供



利用した学生からは、「今後も実施してほしい」との声が多く出されていることから、今後も学生の食生活習慣をあらゆる面から支援していきたいと考えています。



経営学科3年 片原 詩織さん

釧路の観光や物産の魅力を全国にPRする観光大使「2016年マーメイドくしろ」に選ばれた。楽しい大学生活を送れているのは釧路の人に支えられているおかげと語る片原さん。そんな釧路に恩返しをしたいとの思いで応募した。

釧路の中心ストリートを見下ろすことができる「まなぼと」の展望台や幣舞公園が大のお気に入り。釧路市の町名（地名）には地域の由緒等を考慮され決められたものが多く、鶴の形をした街灯もあるなど散策が好きな彼女にとっては魅力的な街だ。

また、子どもの頃からラジオ番組を聴くことが趣味で、地元FM放送局のラジオCMで学生パーソナリティを募集していることを耳にし応募した。毎週土



曜日には生放送しており、番組のコーナーを他の学生パーソナリティと打合せをしながら自分たちで決めていく時間も好きだ。

大学では、「地域社会と行政」をテーマにした演習に所属し、地域はどうあるべきか日々考察している。

進学のため釧路で生活を始めてみると、当初抱いていたイメージより人が多く、地域住民が地域を支えており購買力があるといった印象を受けたと話す、旭川市出身の片原さん。釧路で生活する大学4年間で釧路のことを大好きになって卒業することが目標だ。

終始穏やかな笑顔でインタビューに答えてくれた彼女だが、最後に「将来はメディアを通じて地域に関わる仕事がしたい」そう話す表情には力強さを感じた。

釧路公立大学カフェラボ

経済学科3年 代表 清水 啓博

こんにちは。「釧路公立大学カフェラボ」です。私たちカフェラボは、学内の食堂スペースにカフェ（喫茶店）「Café la paix-ラペ-」を設立、私たち学生主導で運営していく団体で、今年度5月にオープンさせ、現在、部員数28名で活動しています。

「la paix」という店名はフランス語で「憩い・安らぎ」という意味があり、学生の憩いや様々なつながりの空間を創るためのお手伝いをしたいという、私たちの思いが込められています。また、このカフェの企画、運営、継承という様々な活動の中で、主体的に目標を設定し、行動・実行する過程を通じて、私たちが日々学ぶ経済学の実践的なフィールドとすること、ひいては、実社会で通用するスキルを身に付けていくことが私たちの活動の目的でもあります。メニューの設定や調理、食材の仕入れや管理、接客や広報活動など、あらゆる仕事を自分たちで決定・実行でき、それには

責任も伴いますが、その分“やりがい”があります。

このカフェラボは今年度からの新規事業ということもあり、何もかもが手探りの状態から始まったため、オープン前から多くの苦労や失敗がありました。しかし、そういった苦労や失敗から学べることが本当に多く、またその経験が自分を成長させてくれます。このカフェが学内の方はもちろん、学外の方々にも愛されるカフェになるためには、まだまだ多くの課題があります。そのため、これからも信頼できる仲間たちとともに、少しでもお客さんの笑顔を増やせるよう頑張っていきたいと思えます。



公開講座のご案内

平成28年度釧路公立大学公開講座

■加藤 一郎 教授

講演テーマ キャリアについて語ることの意味
－回顧と将来展望－

概要 将来の不透明感が増す中、個人のキャリア形成について関心が集まっている。

過去20年の間に、我が国においても働く人の「人間モデル」が、組織の構成要素としての個人から、主体的に意思決定を行い、自らの将来をデザインしようとする個人へと変化してきた。それに伴い発達してきたのが個人のキャリア形成戦略である。

専門性の獲得、目標の立案とその進捗管理といった方策が叫ばれる中、本講座ではそういった戦略の陥りやすい誤算と、将来ばかりを考えるのではなく、過去をふりかえることの重要性を考えてみたい。

■秋山 修一 教授

講演テーマ 経済理論入門 －経済学における費用とは－

概要 経済学を学ぶことは広く様々な経済現象を分析するために必要ですが、同時に論理的思考を身につけることで経済現象以外の問題を分析する際にも有益となります。経済学は標準的体形が整備されている学問で、基礎的知識を論理的に頭に入れることが経済学を学ぶ場合には必要不可欠となります。

この講座では、経済学を学ぶ際に身につけるべき「経済学的な発想」のいくつかを紹介します。

■金原 いれいね 准教授

講演テーマ 認知言語学入門
－「文法」だけじゃないことばの研究－

概要 ことばの研究と聞いて、真っ先に思い浮かぶのは、いわゆる学校文法ではないでしょうか。不定詞、関係節、分詞構文などわかったようでわからない用語と無味乾燥な文法規則が嫌いで学生時代は英語が苦手だったという人も多いかもしれません。本講座では、わたしたちの存在と切り離すことのできないことばの性質に関して、より認知的な観点から掘り下げます。ことばは、わたしたちが世界を認識する仕方を反映しています。もちろん言語によって世界の切り取り方にも違いがあります。ことばの不思議と魅力について例を用いながら一緒に考えましょう。

■三輪 加奈 准教授

講演テーマ 数値で学ぶ世界の貧困

概要 開発途上国における貧困問題は依然として深刻で、現在なお7億人以上の人びとが、世界銀行の定める国際貧困ライン（1人あたり1日1.90ドル）以下で生活する貧困の状態にあり、これは世界人口の10%近くにのぼる数です。所得が低いということ以外にも、貧困の程度を測るさまざまな指標（数値）が公表されています。この講義では、それらの数値を見ることで、世界の貧困を考えていきます。

■釧路公立大学公開講座 1回目

日時	9月30日（金） 18:30～20:00
場所	釧路公立大学 2階202教室
講師	加藤 一郎 教授
演題	キャリアについて語ることの意味 －回顧と将来展望－

■釧路公立大学公開講座 2回目

日時	10月5日（水） 18:30～20:00
場所	釧路公立大学 2階202教室
講師	金原 いれいね 准教授
演題	認知言語学入門 －「文法」だけじゃないことばの研究－

■釧路公立大学公開講座 3回目

日時	10月12日（水） 18:30～20:00
場所	釧路公立大学 2階202教室
講師	三輪 加奈 准教授
演題	数値で学ぶ世界の貧困

■釧路公立大学公開講座 4回目

日時	10月14日（金） 18:30～21:00
場所	鶴居村総合センター 第1研修室
講師1	加藤 一郎 教授
演題1	キャリアについて語ることの意味 －回顧と将来展望－
講師2	金原 いれいね 准教授
演題2	認知言語学入門 －「文法」だけじゃないことばの研究－

■釧路公立大学公開講座 5回目

日時	10月19日（水） 18:30～20:00
場所	釧路公立大学 2階202教室
講師	秋山 修一 教授
演題	経済理論入門 －経済学における費用とは－

■釧路公立大学公開講座 6回目

日時	10月21日（金） 18:30～21:00
場所	阿寒町公民館 2階視聴覚室
講師1	秋山 修一 教授
演題1	経済理論入門 －経済学における費用とは－
講師2	三輪 加奈 准教授
演題2	数値で学ぶ世界の貧困

- ・ 釧路会場：釧路公立大学 2階202教室
釧路市芦野4丁目1番1号
- ・ 鶴居村会場：鶴居村総合センター 第1研修室
鶴居村鶴居西1丁目1番地
- ・ 阿寒町会場：阿寒町公民館 2階視聴覚室
釧路市阿寒町中央2丁目4番1号
- ・ 受講無料
- ・ 対象 高校生以上
- ・ 受講方法 お申込みの必要はありません。
- ・ お問い合わせ 釧路公立大学 総務課

表紙写真解説 『浮き遊び』

午前中、ホッキョクグマを見に行くとミルクが遊んでいました。ミルクはホッキョクグマではできないはずの2足歩行ができることで有名になりました。

この日ミルクはプールに入り、赤い浮きを上手に掴んで壁に向かって投げたり、浮きを追いかけてプールにダイブしたりとさまざまな遊びを披露してくれました。特にプールへのダイブはとて迫力があり、何度見ても飽

撮影者：経営学科3年 石森 拓海

きることはありません。

釧路市動物園には北海道ゾーンというエリアがあり、エゾヒグマやエゾクロテンなども見る事ができます。ぜひ一度訪れてみてください。

撮影場所：釧路市動物園
撮影日：平成28年8月19日

K.P.U. フェスタ2016

K.P.U.フェスタ実行委員会委員長
経済学科3年 池田 拓

公立大生、並びに保護者の皆さま、こんにちは。K.P.U.フェスタ実行委員会の池田です。

今年も釧路公立大学祭の時期がやってまいりました。地域の皆さま、ご協力いただいた企業様、教員及び学生の皆様のおかげで当大学の大学祭も15回目を迎えることとなりました。日頃の応援、ご協力誠にありがとうございます。

今年度の大学祭のテーマは「千祭一遇」となっております。このテーマは四字熟語の「千載一遇」を基にしたものであります。「千載一遇」とは「二度と来ないかもしれないめったに訪れない機会」という意味で、実行委員や各サークル等参加団体の顔ぶれが変わるため毎年内容が大きく変容するという大学祭の特徴を表現しており、二度とやってくる事のない第15回釧路公立大学大学祭を運営、ゲスト共々盛り上げていけるようにという実行委員一同の願いを込めこのテーマに決定いたしました。

今年度の大学祭も体育会、文化部会を問わず多くのサークルが各々趣向を凝らした露店や企画をご用意しております。実行委員会側からもアトリウムでのカラオケ大会や、昨年ご好評いただきましたお化け屋敷にスポーツレクリエーションといった企画に加え、豪華景品の当たる抽選会を予定しております。また、今年度は2日目に釧路市内で活動しているシンガーソングライターの方によるアコースティックライブ、最終日には北海道内で活躍中のスパンサートリックスさんによるマジックを披露していただくなど2日間連続でゲストをお招きしております。また最終日の夜には花火大会を開催いたします。

今年度はこれまでの経験や反省を活かし、今まで以上に盛り上がる大学祭を開催できるよう実行委員会一同一丸となって準備してまいりました。千載一遇のこの機会、是非釧路公立大学まで足をお運びくださいませ。

◎大学祭 (K.P.U.フェスタ) の開催時刻

前夜祭 10月7日(金) 17:30~20:00 本祭 10月8日(土) 10:00~20:00 10月9日(日) 10:00~20:00
※一般公開日は、10月8日(土)・9日(日)となります。

◎平成28年度後期授業料の納付について

後期授業料は10月31日までに納めてください。最寄の金融機関から、同封の「納入通知書兼領収書」でお振込みください。特別な事情により授業料の分割納付や減免を希望される場合は、学年毎に指定された受付日に関係書類を提出してください。

編集後記

今年の夏はとにかく雨の日が多い。前期試験期間も雨が多く、意気が上がらない中での試験勉強は大変だったろうと思う。8月に入り一時は暑い晴れの日が続くと思いきや、次は台風ラッシュで大雨の連続。我が家では雨が降り続けるに従いトイレの水位が上昇し肝を冷やした。台風の雨は南から暖かい空気でも連れてくるのか、湿度も高く屋内にいると涼しくすらなかった。釧路でもここまでの夏じゃない感は着任以来初めてであるが、後期が始まる9月以降はさわやかな秋晴れを期待したい。



10月 7日(金) 8日(土) 9日(日)
一般公開日 8日(土)・9日(日)
※駐車場には限りがございます。ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。
K.P.U.フェスタ実行委員会 0154-37-6720

釧路公立大学だより 第54号
平成28年10月1日発行

◎発行元
釧路公立大学
〒085-8585 釧路市芦野4丁目1番1号
TEL 0154-37-3211(代)
FAX 0154-37-3287
学生課: TEL 0154-37-5091
URL: <http://www.kushiro-pu.ac.jp/>
◎発行日
毎年2回(4月1日、10月1日)